

田植えシーズン到来！



産山小学校5年生が「うぶやま学」の一環で産山小中学校横の田んぼで田植えの体験を行いました。井信也さんとの田約700mに地域の方の協力のもと一生懸命田植えに挑戦していました。

6月
No.538
2014(平成26年)



産山村子どもヘルパー任命式を開催

～平成26年度 第15回子どもヘルパー任命式～

4月28日（月）、村基幹集落センターにおいて平成26年度第15回産山村子どもヘルパー任命式を開催しました。式には、来賓として阿蘇地域振興局 平嶋総務福祉課長様をはじめ地域の協力団体より約20名の参加を頂きました。今年度は、産山小4年生12名・本年度転入の5年生1名と産山中1年生（7年生）1名へ社会福祉協議会市原正文会長より一人一人に任命証が交付されました。任命を受けたヘルパーを代表して、4年生の池部輝さんと岩下凜音さんが「ヘルパー活動では、草取りなどのお手伝いを頑張って、お年寄りの方に喜んでもらえることをあげたい」など、それぞれ意気込みを発表しました。式終了後は地域に分かれて自己紹介や活動の打ち合わせなど地域協力員の方々を交えて行われました。

本年度は、小学4年生から中学1年生（7年生）までの総勢51名で活動を行います。地域の皆様のあたたかいご支援をよろしくお願い致します。



日産電気自動車「リーフ」が納車されました！



熊本日産自動車株式会社から阿蘇地域世界農業遺産への協賛事業として、阿蘇管内各市町村へ電気自動車「リーフ」が無償で貸与され、5月16日に産山村に納車されました。リーフは走行中の排出ガスが出ず、環境に配慮した車として現在注目されています。

また、産山村においては今年度電気自動車急速充電器を3台設置予定です。村民の皆様も環境に配慮した電気自動車を、ぜひご利用されてみてはいかがでしょうか。

商工会通常総会開催

5月23日（金）、産山村基幹集落センター2階において、第44回産山村商工会通常総会が開催されました。当日は、21名の会員や来賓の方々が出席され、平成25年度の事業報告や決算、今年度の事業計画や予算について審議されました。現在消費税の増税やTPP問題など大変厳しい状況にありますが、商工会は地域の特徴を活かして、連携を深め、柔軟かつ迅速に対応する方針です。



Burning! (燃えろ)

～めざせ完全燃焼～



どちらが先に倒すのか！



いっぱい玉は入ったかな？



お兄ちゃん、お姉ちゃんたちには負けないぞ！



力と力の戦い！

絶好の運動会日和のもと、去る5月17日（土）産山小中学校において合同体育祭が開催されました。116名の児童・生徒達はこれまで積み重ねてきた練習の成果を十分に發揮し、「Burning (燃えろ) ～めざせ完全燃焼～」のスローガンのとおりひたむきに競技に取り組み、まさに完全燃焼といったところでした。児童生徒に負けじと応援に駆け付けた保護者や地域住民の皆様方も様々な協議に参加してもらい、運動場は笑いと歓声に包まれ、児童・生徒と地域が一体となった運動会となりました。

今回の体育祭を開催するに当たり、ご支援、ご協力を頂きました各種役員さんをはじめとする地域住民の皆さん、関係者の皆様本当にありがとうございました。

株式会社うぶやま入社式が行われました！

株うぶやまでは5月1日に入社式が行われ、2名採用致しました。入社予定者の運転免許取得などのために、1ヶ月遅れの入社式となりましたが、当日は市原社長の挨拶、辞令交付の後、新入社員を代表して、中村愛子さんが誓いの言葉を述べました。

また、4月に採用された3名の方の辞令交付式も併せて行われ、本年度は5名の方を採用致しました。村民の皆様どうぞよろしくお願い致します。



入社式の様子

3年目を迎えた保小中一貫教育も4月の入園式・入学式から約1ヶ月過ぎ、初夏の風薫る中、順調なスタートを切りました。

今回の「わくわくキッズ」は保育園の園児も参加した産山小・中学校・校区民合同体育祭について紹介します。

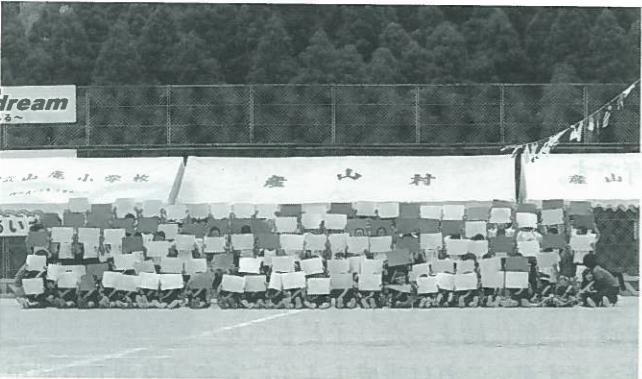
5月の始めから約2週間、練習を積み重ね保育園・小・中学校合同の予行練習を経て、5月17日(土)本番を迎えました。



保育園児の「Go Go わくわくキッズ」



小・中学校合同選手宣誓



1～9年生による表現(人文字)



7～9年生による表現(よさこいソーラン)



大会スローガン「B u r n i n g (燃えろ)～めざせ完全燃焼～」として行われた小・中学校・校区民合同体育祭は保育園児や多くの地域の方々の参加があり、多くの感動を得ることができました。園児・児童・生徒が最後まであきらめずに、また心を一つにして取り組む姿に保小中一貫教育の成果が現れていますを感じることができました。これからも産山の子どもたちが健やかに成長できるよう見守って頂ければ幸いです。

→4～6年生による表現(組体操)



福祉サービス「ほっと館」です



産山村大利657-2
tel0967-25-2233
fax0967-25-2281

外出支援サービス利用について

外出支援サービスは産山村の委託を受けて、ほっと館が実施しています。外出支援サービスとは、一般の交通機関を利用して外出することが困難な要援護高齢者（自分で車の乗り降りができる方）に対して、永年住み慣れた地域の中で引き続き生活していくことを支援し、保健福祉の向上を計ることを目的としています。

①利用するには？

- ・産山村へ申請が必要です。申請後会議にかけられ、利用可か不可の決定がされます。
- ・申請の受付は役場住民課、またはほっと館でもできます。

②利用するときの目的は？

- ・医療機関への受診、銀行・役場・公共機関等に行く場合に利用できます。

③利用できる範囲は？

- ・産山村、隣接市町村、大津町、熊本市、竹田市、大分市、別府市等です。

④利用の許可が出て、実際に利用する場合は？

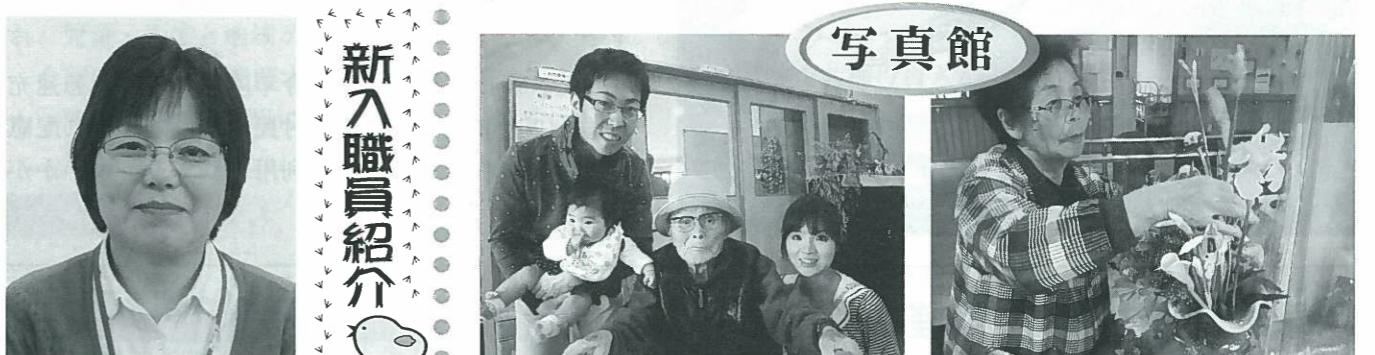
- ・ほっと館に連絡して下さい。
- ・予定が分かっている場合は早めに予約をお願いします。
- ・電話受付は、月曜日から土曜日の午前8時30分から午後17時30分です。
- ・利用も、月曜日から土曜日の午前8時30分から午後17時30分です。



⑤利用料金は？

- ・村内は1,000円、阿蘇市等近隣市町村は2,000円、それ以外は3,000円です。
*どちらも往復の値段です。

詳しいことは役場住民課またはほっと館にご相談下さい。



池山朋子です。5月より介護支援専門員（ケアマネージャー）として勤務しています。

四季折々の風景を楽しみながら頑張りたいと思います。6月から再開する地域サロン活動にも参加します。どうぞよろしくお願いします。

—産山の小中一貫教育 1 —

村民の皆様には、本村教育の充実・発展にご支援・ご協力頂き、大変ありがとうございます。
さて、産山の小中一貫教育については、学校からのお知らせなどで、十分ご存じの方が多いかもしれません。
しかし、村民の皆様の中には、「話はよく聞くが詳しい内容は知らない」という方もおられるのではないかと思ひますので、このことについて基本的なところを、何回かに分けてお知らせ致します。

なお、現在産山村では保育園を組み入れた保小中一貫教育に取り組んでいますが、このことについては、広報で別にお知らせしている「わくわくキッズ」をご覧下さい。

1 産山の教育改革の理念

教育にへき地があってはならないと言われています。「産山の子どもたちに地域の実態に応じ最高の教育を授けたい」、その結果として、「子どもたちが世界で羽ばけるような人に成長してほしい」。これは、市原村長が教育長の頃熱く話されていたことで、産山における教育改革の底に流れる基本的な考え方=「理念」です。この理念のもとに、皆様方の力を借りしながら、教育委員会として産山の教育がさらに充実するよう、努力していくきたいと考えています。

2 産山の小中一貫教育のねらい

産山の二学期制や小中一貫教育をめぐる教育改革では、「じっくり」、「しっかり」、「のびのび」という改革のテーマのもとに、次の4つの「ねらい」を定めています。

- (1) 子どもたちに確かな学力をつける。
 - (2) 郷土を知り郷土を愛する子どもを育てる。
 - (3) 小学校と中学校の段差を低くして教育効果を上げる。
 - (4) 地域と学校との協力関係を深め、学校教育の充実とともに地域の教育力を高める。

このようなねらいを達成するために、教育委員会と学校で組織する産山村教育研究会で研究を進め、手作りで策定した産山独自の教育計画が産山村小中一貫教育です。

3 産山の小中一貫教育の背景

教育委員会では、平成7年から学校や地域の方々の協力を頂きながら、社会教育と学校教育を効果的につなぐ研究に取り組んでいます。皆さんよくご存じの平成12年に始まった「子どもヘルパー」は、その成果の一つです。また、「わいわいヒゴタイ土曜塾」もそうですが、これは平成14年に完全学校週五日制が始まり、土曜日における子どもたちの過ごし方をサポートしたものです。

この他にも産山には昭和63年から続くヒゴタイ交流をはじめ様々な特色ある取組みがあります。これらの取組みが産山の小中一貫教育には組み込まれています。

4 産山の小中一貫教育の特徴

- (1) 産山の小中一貫教育は、平成19年の小学校の統合を機に国の構造改革特区の認定を受け開始されました。特区を申請したのは、文科省の基準（学習指導要領）を超える内容を取り扱ったためです。

(2) 小中一貫教育を効果的にするために、中学校に連結して小学校を建築しました。

(3) 一般的な小中一貫校では、学年の区切りを4・3・2制にしていますが、産山では5・2・2制にしています。これは、小6と中1を一区切りにして、小学校と中学校の接続をなめらかにするとともに、小中学校の先生方の相互乗り入れをしやすくしたものです。

(4) 小中の乗り入れをしやすくするため、県教育委員会の許可を得て校長以外の教職員が両方の学校で授業できるようにしました。このことにより、例えば小学校の高学年の児童が、音楽など特に専門性の高い教科を中学校の専門教科担当の先生の授業を受け教育効果が上がっています。

文科省の基準にない産山小中学校の教育内容には、①ヒゴタイイングリッシュ、②うぶやま学、③チャレンジ学習などがありますが、これらについては、今後順次お知らせします。



2014
ワールドカップ開幕

**6月の図書室開放日
第2・4土曜日の14日・28日
10:00~15:00**

6月12日FIFAワールドカップ・ブラジル大会開幕します。日本チームの初戦は15日のコートジボワール戦。日に日にテレビ・新聞でも大きく取り上げられ、サッカーファンのみならず日本中が盛り上がってきていますね。日本代表はじめ世界中のスーパープレイヤー達、素晴らしい才能もあるけれど、それ以上に自分に厳しく努力を惜しまず築き上げた技術や人格は惹きつけられるものがあります。一方、華やかなスポーツの世界にも根強い人種差別が残っていることを、2006年大会のフランス代表ジダンの退場や、今年4月に起きたサッカー選手による人種差別反対運動「バナナの輪」を通して垣間見ることとなりました。

開催地ブラジルでは、「ワールドカップより教育や福祉を」と反対デモが先月にも起きています。また106年前に日本からの移住が始まり現在日系ブラジル人は160万人にのぼるそうです。サッカーにはあまり興味がなくても、地球の反対側の親しい国ブラジルについて関心を寄せるにはいい機会ですね。



阿蘇世界文化遺産リレーコラム ~守っていきたいわがまちの景観と人々~

コラム第21回 「日本で最も美しい村」連合加盟決定！ 担当：高森町

昨年の10月に島根県海士町で開催された『「日本で最も美しい村」連合 2013フェスティバルin海士』において、高森町の「日本で最も美しい村」連合加盟が正式に承認されました。

「日本で最も美しい村」連合とは、失ったら二度と取り戻せない日本の農山漁村の景観・文化を守りつつ、最も美しい村（地域）としての自立を目指す推進母体であり、今回の正式承認によって、その土地でなければ経験出来ない独自の景観や地域文化を持つ「美しい村」として高森町が認められることになります。

近年、日本では市町村合併が進み、小さくても素晴らしい地域資源を持つ地域の存続や、美しい景観の保護が難しくなっていますが、小さくても輝くオンリーワンを持つ農山村として、自らの町に誇りを持って自立し、将来にわたって美しい地域であり続けられるように、そして、将来の子どもたちに「誇れる高森町」を受け継ぐことができるよう、景観計画・景観条例の制定をはじめとした、様々な活動を今後も推進していきます。

詳しくは、「日本で最も美しい村」で検索！

◆次のコラムは、南阿蘇村が担当します。

『世界遺産こぼれ話』Vol.12 -世界遺産の「勧告」とは？-

先日、群馬県の「富岡製糸場」が世界遺産一覧表への「記載勧告」を受け、来場者が殺到するという報道がテレビ・新聞を賑わせたところです。

この「勧告」は、イコモス（国際記念物遺跡会議）という海外の専門機関が現地調査のうえ行うもので、昨年の「鎌倉」のように、事実上の却下となる「不記載勧告」が行われることもあります。

記載を正式に決定するユネスコの「世界遺産委員会」では、「勧告」と異なる決定がなされることはほとんどなく、富岡製糸場は事実上の当確といえます。

熊本県でも今年夏頃、「明治日本の産業革命遺産」に関するイコモスの現地調査が実施されるため、「記載勧告」を目指して現在準備を進めています。



「明治日本の産業革命遺産」のHPはこちら！
<http://www.kyuyama.jp/>

熊本県子牛市場品種別セリ成績表（平成26年5月）

熊本県畜産農協阿蘇支所統計による

褐毛		○市場セリ日：平成26年5月7日(水)～9日(金)					
性別	頭数	平均価格	先月比	平均体重	Kg単価	平均日齢	
県市場平均	去勢	119	506,729	10,264	307	1,652	272
	メス	93	464,284	17,164	290	1,599	286
産山牛平均	去勢	4	529,470	24,894	319	1,660	272
	メス	4	462,780	4,860	270	1,714	301

黒毛		○市場セリ日：平成26年5月7日(水)～9日(金)					
性別	頭数	平均価格	先月比	平均体重	Kg単価	平均日齢	
県市場平均	去勢	387	595,351	14,852	298	2,001	280
	メス	329	508,568	▲4,410	274	1,859	286
産山牛平均	去勢	13	593,418	▲8,373	300	1,978	290
	メス	13	511,837	▲41,319	275	1,861	297

田んぼに水が張られると、待つてましたとばかりにカエルの大合唱が始まりました。数日するとあちこちに卵が産みつけられています。天気がいい日は、村の皆さんお仕事、診療所は一休みです。村の生活は自然と共にあり、村の人たちの暮らしはまた産山の自然を動かしているんだなあと実感します。

プライマリケア学会の認定医試験に合格しました。もうひと頑張りすると、指導医の資格が取れます。そうすれば研修医が産山にやつてくるかもしれません。

東北の大震災は、医療界に大きな衝撃を与えました。災害医療の現場では、大病院の専門医より、診療所の総合医が活躍しました。患者さんの生活の場に出向いて、予防活動から高齢者の認知症や介護へのアドバイスまで、地域医療

の経験を持つ総合医が力を発揮したのです。震災の経験から、国は地域医療を担う総合医の養成を決定しました。プライマリケア学会はそういう総合医の研修と養成の場です。しっかりと勉強して、先進的な地域医療を産山で実践できればと考えています。

産山村は阿蘇圏域でも一番高齢化が進んでいます。地域で支える方で、医療や介護の事業拡大は、若者に就労の場をもたらします。高齢社会は絶好のビジネスチャンスでもあるのです。医療や介護に積極的に取り組むことが、高齢者の老後に安心をもたらし、村の経済活性にもつながると確信しています。

健康小話



産山村診療所
林田 来介 先生

※この広報原稿はロストン先生が日本語で書いています。
村内で会った時は、気軽に話して下さい。

こんにちは！ロストンです。



Boston Willis
(ロストン ウィリス)

We got married

こんにちは皆さん。5月2日、私は結婚しました。テキサス州に行きました。私の妻の両親の家で結婚式を開きました。妻は7月頃来日します。ちょっと寂しいですが、我慢出来ます。

結婚式の写真をご覧下さい。



第26回 熊本県シルバースポーツ交流大会

5月13日（火）から20日（火）にかけ、熊本県民総合運動公園をメイン会場に、熊本県さわやか長寿財団主催の「シルバースポーツ交流大会」が開催されました。

産山村からは、グラウンドゴルフ競技に17名が出場されました。グラウンドゴルフの部には県内より約900名が出場され、ブロックに分かれて16ホールのストロークマッチで争われました。当日はあいにくの天気の中競技が行われ、惜しくも入賞は逃しましたが、日頃の練習の成果を発揮されていました。

出場された選手の皆様、お疲れ様でした。



開会式の様子



大会の様子



「空き缶拾いボランティア」

村民児協

産山村民生委員児童委員協議会（井昭光会長外5名）では、毎年5月の「民生委員児童委員の日・活動週間」に合わせて、空き缶拾いのボランティア活動を行っています。今年も5月23日（金）の午後、2班に分かれて県道笹倉九重線周辺を中心に、空き缶やゴミ拾いの清掃活動を行いました。この日は晴天ということもあり活動を無事終了しました。お疲れ様でした。

社協に寄せられた善意の寄付【4・5月分】

毎月、「福祉のためにぜひ役立てて下さい。」とたくさんの善意をお寄せ頂いております。その主旨にそくべく“地域福祉発展”的ために、有効に活用させて頂きます。

【香典返し】

- 吉本 千代信様より (山中) 故 トミエ様分として
- 井 エミ子様より (杖木原) 故 恒光様分として

～心から感謝申し上げます。ありがとうございました。～



平成26年度 熊本県介護支援専門員実務研修受講試験（ご案内）

1、試験期日 平成26年10月26日（日）午前9時45分着席
午前10時開始

2、試験会場 熊本学園大学 熊本大学

※試験会場の指定はできません。

※公共の交通機関を使用してください。

3、受験資格 原則として、保健、医療、福祉の分野で通算5年（一部10年）以上の実務経験を有する方（詳細は「試験案内」に記載）

4、試験案内の配付期間 平成26年6月16日（月）～平成26年7月18日（金）

5、試験案内の配付場所 熊本県社会福祉協議会（福祉人材・研修センター）
各市町村社会福祉協議会（支所含む）
熊本県認知症対策・地域ケア推進課、熊本市高齢介護福祉課
※土・日曜、祝日を除きます。
※郵送による試験案内の配付は行いません。
※「試験案内」は産山村社会福祉協議会に置いてあります。

6、受験申込の受付期間 平成26年6月16日（月）～平成26年7月18日（金）

7、受験申込の申込方法 受験申込書は、「試験案内」巻末の専用封筒を使用し、1通につき1名分を、必ず簡易書留により熊本県社会福祉協議会（福祉人材・研修センター）宛に郵送してください。
（7月18日の消印有効）

※持参による申込書の受付は行いません。

8、受験手数料 8,500円

9、実務研修の予定 試験合格者を対象に、実務研修を実施します。
①実施時期 1月～3月の間7日間（前期3日、後期4日）
②実施会場 熊本市

試験実施機関
受験申込先
お問い合わせ先

社会福祉法人 熊本県社会福祉協議会

福祉人材・研修センター

〒860-0842 熊本市中央区南千反畠町3-7

熊本県総合福祉センター4階

※土・日曜、祝日を除く TEL 096-322-8077 FAX 096-324-5464



社協だより

平成26年
第240号
発行者
産山村
社会福祉協議会
☎23-9300

ふれあいで、
ふくしの心

ブラジル訪問団が来庁

ブラジル在住の熊本県移住者とその子孫は「ブラジル熊本県文化交流協会」を組織し、55年にわたり熊本県との交流をしてきました。そこで、サンパウロにおいて創立55周年記念式典を実施し、小野県副知事をはじめ熊本県から多くの方が式典に参加され、その答礼として「熊本訪問ふれあいの旅」と題し、5月10日から19名の方が熊本県を訪問されました。

5月14日(水)には、産山村役場へ来庁され歓迎式典を行いました。歓迎式典では、うぶやま保育園の園児とうぶちゃんを交え「うぶちゃん体操」を披露しました。また、村よりうぶちゃんぬいぐるみやメモ帳、ボールペンを訪問団の方へ記念品として贈呈しました。ブラジル訪問団からは、熊本の竹をブラジルへ持ち帰り、育て加工した竹細工を、産山村へお礼として頂きました。

今回のブラジル訪問団の方の中に産山村出身者の方はいませんでしたが、産山村のおもてなしに感激され、皆さん大変喜ばれて産山村を後にしました。



皆で記念写真!



産山村よりうぶちゃんグッズを差し上げました。



園児と一緒に「うぶちゃん体操」